

巻頭言

知恵と創造

Wisdom and Creativity

執行役員
商品企画本部本部長

岡本 光正
Kosei Okamoto



コマツは“イノベーションによる価値創造”，“事業改革による成長戦略”，“成長のための構造改革を成長戦略”の 3 本柱とし、収益向上と ESG 課題の解決の好循環で企業価値の最大化を目指してきました。

ESG の E, Environment の課題の一つに地球温暖化問題があり、温室効果ガスが地球温暖化をもたらしているといわれています。今、脱炭素化やカーボンニュートラルが世界中で注目され、その解決のための取り組みが数多く進められています。鉱山建設機械分野では、動力源の電動化、燃料電池化、水素エンジン化や燃料の E-Fuel 使用でカーボンニュートラルにすることが試みられています。しかしながら、現在は研究段階で、ビジネスを考えるとまだ実用化までに時間がかかります。地球環境を守り持続可能な社会を目指すのは企業の責任ではありますが、ビジネスとして成立させる必要もあります。コマツだけでなくお客さまのビジネスとしても成立しなければなりません。現時点では、価格や稼働時間等でお客さまが満足するレベルに至っておらず、更なる改善が必要な段階です。

コマツとして利益を上げるための課題も沢山あります。機械単体での技術（電動化、燃料電池化）だけではなく、給電や水素供給など関連するサプライチェーンを構築していかなければいけません。これらは、コマツ単独でできることではなく、他との協業や企業の買収を視野に入れる必要があります。そんな中で競業他社との差別化も図らなければならず、考えなければならぬことが山積みです。

これらは、90 年代から始まった排気ガス規制対応を進めてきた私たちの世代にとって、今までに経験してこなかったことです。排気ガス規制対応ではやらなければいけないこと（NOx, PM の低減など）は明確でした。これからは、社会からの要求、お客さまの期待、会社の利益を考え、何をやるかを自ら考えていかなければなりません。

コマツは 2021 年 100 周年を迎えました。100 年間積み上げてきた経験や技術力があります。ただ、これだけで、現在のこの混沌とした状況を抜け出していくことができるのか？私は今までどおりのものの考え方や積み上げてきた技術や経験だけではなく、知恵と創造力、更には新しいことにチャレンジする気持ちが必要だと考えています。

コマツは 2050 年カーボンニュートラルを目標にしています。この状況はしばらく続くこととなります。一人ひとりが知恵、創造力、チャレンジ精神を最大限に発揮してもらえよう、環境やそれぞれの意識を変えていきたいと思います。